



夏の風景：畑の4年間の栽培品目は30を超える

白根コミュニティー
ファームのあゆみ
2011/4ー 2015/3



白根のはたけFBページ

地域拠点づくり、次のステップへ…

2011年4月。白根コミュニティーファームとして、宅地の庭先30㎡の開墾作業を始める。

2011年9月、冬ばたけ30㎡を拡張。夏ばたけと合わせて60㎡に。

2012年秋～冬、玄蕎麦を直播き、栽培収穫から蕎麦打ちまで体験。

2013年より、中白根地区のみなさんと有料の栽培収穫体験を開始。

2014年7月、地元商店も参加し、白根のはたけ3周年記念祭を開催。

そして、2015年…5回目の春。

白根通り地域活性化の拠点として、都市農園の理想形とつながるきっかけづくりのために、白根コミュニティーファームは活動内容を深化させます。

◎ 多世代が集い、農作業や地域交流が図れる農のある場所

◎ 地域の食+農イベントの開催

◎ ミニカルチャーセンター的な教室運営

近隣居住者、地域商店、農業生産者を結び、魅力があって永く住みたい街になるように、仕掛けや催しを共につくっていきたいと思います。新しい「白根コミュニティーファーム」の活動に、あなたも参加してみませんか？

”食”テーマをプラス



2014年夏に開催した3周年記念祭では、中白根にあるパン屋さんから提供してもらった生地を伸ばし、畑で採れたミニトマトとバジルを使い、耐火レンガを積んだ石窯でピザを作りました。薪を割り、焚き火を起こすのは大変だったけど、みんなでお張る焼きたてピザの味は、本当に格別でした。

野菜づくりはもちろん楽しいけど、自分で作った野菜を調理して味わうことは、よりたくさんの方が関わられるし、とても楽しいことがわかりました。みんなで作ってみんなで食べる…「食+農」のシェアを、これからもっと広がっていきます。

地域が支える小さな農園



白根のはたけは、周囲をぐるりと住宅に囲まれた典型的な都市農園。代々受け継がれた井戸があり、災害用水として活用できます。近くに竹や薪を取る小さな雑木林もあり、横浜でありながら、様々な自然の恵みを得られる貴重な環境です。この井戸と畑のある日常風景から、白根通り周辺の良いところを見つけ、みなさんが地域との関わりを感じる”きっかけをつくる”場所として応援してもらえたらと思います。

白根コミュニティーファーム

代表：金子 光広

Web： <http://shirane-comufarm.jimdo.com>

FBページ： <https://www.facebook.com/shiranecomunityfarm>

Eメール： shirane@clock.ocn.ne.jp